

AMEDがん研究の成果（令和4年10月～12月）

☆小児がん（神経芽腫、診断・治療）

複数のアミノ酸代謝阻害が新治療法となるか
神経芽腫の新たな診断法と治療戦略を創出ーがん細胞の生存戦略「がん代謝」を逆用するー

☆高齢がん患者の免疫系低下

免疫系が若返るメカニズムを解明！
スペルミジンはT細胞の脂肪酸酸化を直接活性化し老化による抗腫瘍免疫の低下を回復させるースペルミジンによる脂肪酸酸化活性化機構の解明ー

☆大腸がん（再発）

大腸がんの再燃・再発につながる新しいメカニズムを解明し、新治療法の開発につながる
ことが期待！

大腸がん幹細胞が化学療法後に再発するメカニズムを解明ー大腸がんの再発予防・根治療法開発に光明二

☆大腸がん（AIソフトウェア）

見逃されやすい腫瘍性ポリープの発見に本ソフトウェアが良好な成績を示しました
大腸内視鏡の病変検出 AI ソフトウェア「EIRL Colon Polyp」が薬事承認を取得ー人工知能の活用による、大腸ポリープの見落とし率改善に期待ー

☆肺がん（治療）

融合遺伝子の検出で薬剤耐性に有効な薬剤が
将来わかる！？

EGFR変異肺がんの薬剤耐性機序としての融合遺伝子の包括的研究ー薬剤耐性の原因となっている融合遺伝子の見分け方と克服法を提唱

☆卵巣明細胞癌（治療）

iPS細胞由来自然キラーリンパ球の治験薬製造
を大学発ベンチャーが支援！

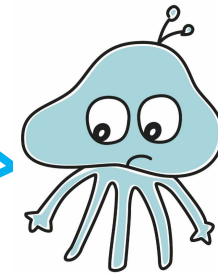
同種iPS細胞由来CAR-NK細胞の治験薬製造に係る共同研究契約及びデータ・特許の独占的な実施権について

☆固形がん（治療）

遺伝子改変したiPS細胞から作成したiCAR-T細胞
で固形がんの治療効果が改善！

CAR シグナルを補完する遺伝子改変により*iCAR-T 細胞の固形がん治療効果が改善される

各研究成果の詳細は、下線部分を
クリックしてください。
各研究のお問い合わせは詳細ページ
に記載されています。



☆乳がん（アプリの活用）

スマートフォンアプリが「がん再発恐怖」の軽減を
可能に！

乳がん患者さんの再発に対する恐怖をスマートフォンアプリを用いて軽減することに 世界ではじめて成功

☆難治性肉腫（治療）

がん治療用ヘルペスウイルスによる難治性肉
腫治療の可能性も動物試験で証明
難治性肉腫に対するウイルス療法の有効性を発見

☆数種のがん（リスク推定）

複数の計算手法を用いて「がんリスク体質」
を定量化！

遺伝的がんリスク体質の人は若くしてがんになりやすいーがんの特性をPRSで解明ー

☆全ゲノム解析（意識調査）

全ゲノム解析は病気の診断、治療に有益である一方、
不安もある

全ゲノム解析研究に関する意識調査ーがん患者、家族、市民の期待と懸念は？ー

成果がみなさんの元に早く届くよう、日々研究推進されています。

